

# 湖南省議会議員全員協議会資料

## 新庁舎整備の進捗報告について

資料 1	新庁舎整備の進捗報告について・・・・・・・・・・	2
	(令和 7 年 7 月 30 日開催 庁舎整備検討特別委員会資料)	
資料 2	新庁舎整備の財源計画について・・・・・・・・・・	25
	(総務部財政課作成資料)	

令和 7 年（2025 年） 8 月 19 日

総務部管財契約課

令和7年7月30日(水)  
庁舎整備検討特別委員会資料



# 新庁舎整備の進捗報告について

～ 市民の暮らしを守る防災拠点整備の推進のために ～

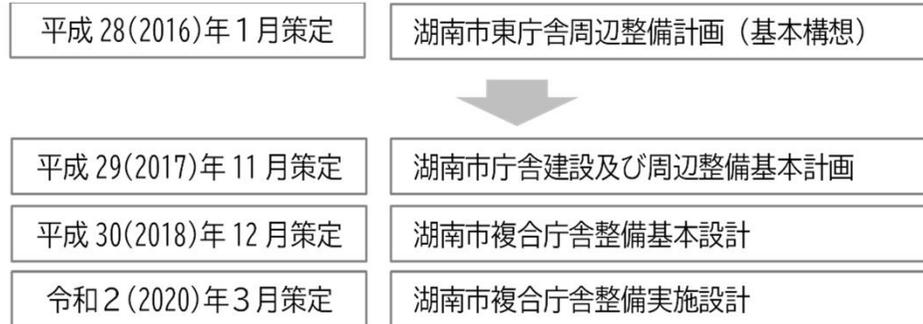
## <報告内容>

- ・庁舎位置 選定の視点
- ・新庁舎整備のコンセプト

総務部 管財契約課 庁舎整備室

## 新庁舎整備の経緯

### ●新庁舎新築建替え方針決定までの経緯



<令和2年6月>

新型コロナウイルス感染症対策優先のため、整備を一旦見送り

庁舎整備は社会情勢の変化に対応

- ・ 情報技術の進展、DX化
- ・ 地球環境への配慮
- ・ 人口減少に伴う財政規模の縮小の懸念
- ・ 小規模多機能自治の推進

早急な庁舎整備が必要

南海トラフ地震等の災害への備え

庁舎に必要な機能を吟味し、  
全面建替えだけでなく、現庁舎の耐震補強と増築による庁舎整備も視野に入れ、  
より効果的、経済的な整備方法について再考

R4 東庁舎耐震診断(3次)

IS値0.22

倒壊または崩壊する危険性が高い  
参考:H27耐震診断(2次) IS値0.52

< R5~R6 庁舎整備基本計画策定 >

議会との対話

市民アンケート

令和6年4月16日~5月10日

タウンミーティング

令和6年7月~8月

ワークショップ(50歳未満)

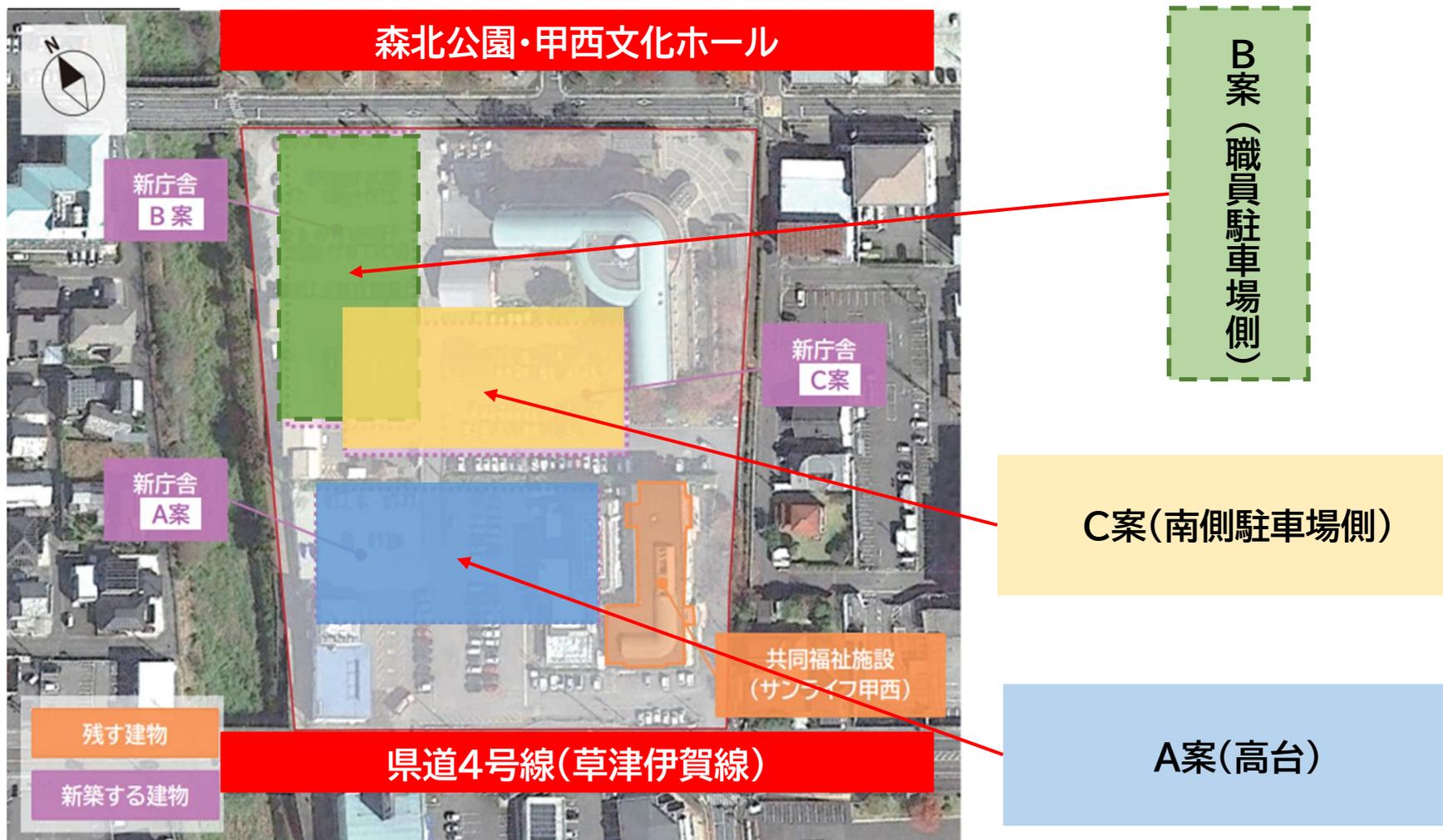
令和6年12月



令和7年3月議会 新築建替えに方針表明

## 庁舎位置候補（湖南省庁舎整備基本計画より）

- 庁舎整備基本計画では、A案・B案・C案の3案の候補地を選定しています。



## 庁舎位置別の配慮事項（湖南省庁舎整備基本計画より）

● 黄色の網掛け部分が特に配慮する事項になります。

	A案(高台)	B案(職員駐車場側)	C案(南側駐車場側)
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖南中央消防署と社会福祉センターの跡地に新築棟を建設</li> <li>・駐車場は東庁舎解体後に整備(旧給食センター跡地も利用可能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧給食センター跡地に新築棟を建設</li> <li>・駐車場は東庁舎解体後に整備(消防署跡地も利用可能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東庁舎前の駐車場を利用して新築棟を建設</li> <li>・駐車場は東庁舎解体後に整備</li> </ul>
災害時のリスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水想定区域外</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部浸水想定区域 0.5m未満(床高を上げるにより対応可能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水想定区域 0.5m未満(床高を上げるにより対応可能)</li> </ul>
動線(人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎と北側駐車場の間に高低差があるため利用しにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎と南側駐車場に高低差がある</li> <li>・北側および南側駐車場からアクセスすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎と南側駐車場に高低差がある</li> <li>・北側および南側駐車場からアクセスすることができる</li> </ul>
動線(車)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車動線は敷地の東側に確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地中央に明確な車動線が確保できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車動線は敷地の東側に確保</li> </ul>
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道草津伊賀線に対し離隔が取れないため圧迫感を与える</li> <li>・周辺の多くの低層建物との調和を考慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道草津伊賀線に対し離隔が取れることと、高低差を利用することで圧迫感を抑えられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道草津伊賀線に対して離隔が取れることと、高低差を利用することで圧迫感を抑えられる</li> </ul>
施工性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖南中央消防署と社会福祉センターとの調整が必要</li> <li>・高低差に対し造成工事等が必要の可能性はある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公用車車庫、水防倉庫の移設・解体が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公用車車庫、水防倉庫の移設・解体が必要</li> <li>・東庁舎に近接しているため、工事中の騒音・振動</li> </ul>
県道からの視認性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視認性あり(県道草津伊賀線に対して正面)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視認性なし(県道草津伊賀線に対して垂直方向に正面がある)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視認性あり(県道草津伊賀線に対して正面)</li> </ul>

- 令和7年6月9日付総務省回答により有利な起債が適用できる結果となりました。

### 【市町村役場機能緊急保全事業債】

(充当率)90% (交付税措置)30% ※起債対象事業費の75%を上限  
(条件)耐震化が未実施の庁舎建替え

※令和2年度までに実施設計に着手

実施設計(令和元年度策定)の一部を活用することにより、  
基本計画のA・B・C案いずれにも適用が可能



災害に強く、市民が求める庁舎として、  
新しい時代に対応する機能を備えた新庁舎を整備します

早期に、

- 災害への対応力
  - 東庁舎周辺一帯の利活用
  - 整備スケジュール
  - 財政負担
- 等

を踏まえながら、具体的な庁舎の位置を決定し、設計に着手します。

- 財政的に有利な地方債等の活用について検討します。

(過去に検討したもので対象にできない地方債)

【緊急防災・減災事業債】

(充当率)100% (交付税措置)70%  
(条件)防災機能の整備、災害時の避難施設 など  
令和7年度までに建設工事に着手



期限の延長を  
国に要望中

【公共施設等耐震化事業債】

(充当率)90% (交付税措置)50%  
(条件) 庁舎の耐震化



建替えは対象外

(近年に創設された地方債)

令和6年度創設

【こども子育て支援事業債】

(充当率)90% (交付税措置)30%  
(条件)こども計画に位置づけられている施設整備

## 東庁舎周辺を含む配慮事項(各案)

### ■ A案(高台)

消防署等

R9除却工事

R7~R9 基本設計(庁舎)

<新庁舎建設スケジュール>

R10 実施設計  
R11 確認申請

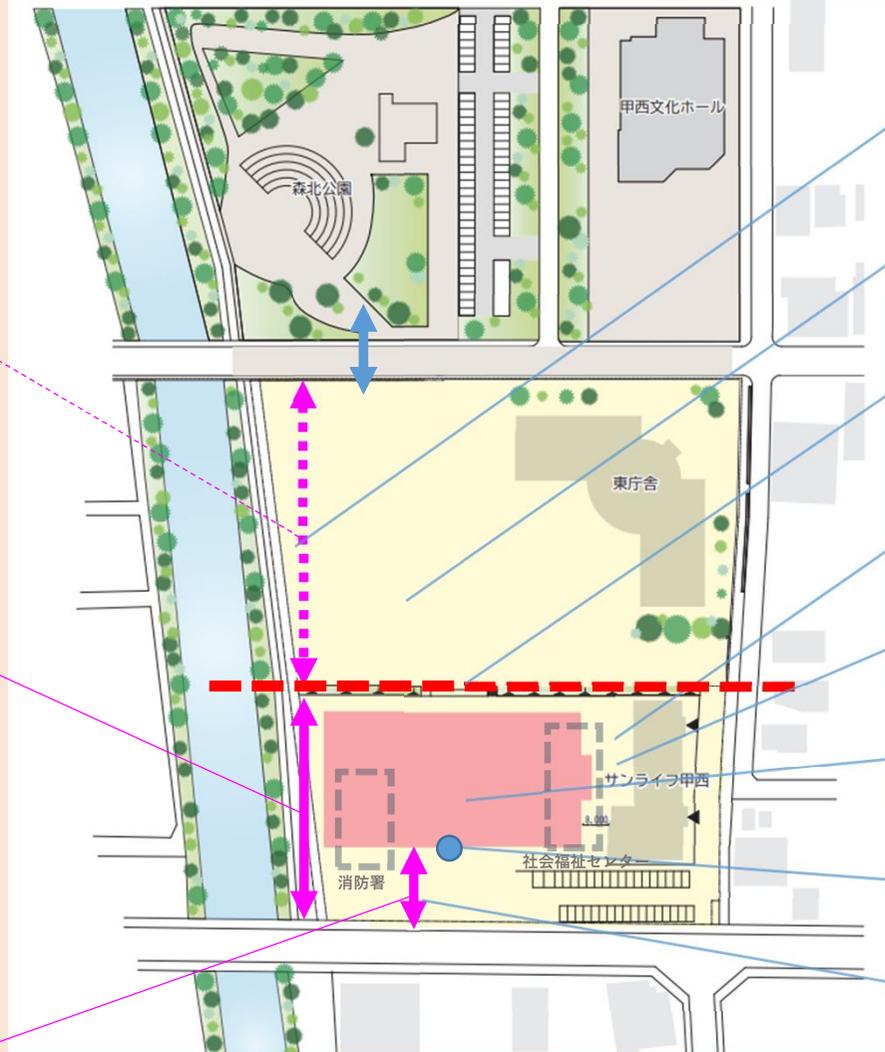
R11~R13  
新庁舎建設工事

R13  
移転

(高台下)  
南北延長  
100m

(高台)  
南北延長  
65m

(玄関前)  
南北延長  
25m



新庁舎から文化ゾーンまで100m以上ある

新庁舎下にスペースがある

高低差が約2mあり庁舎と北側駐車場の間に高低差がある

工事ヤードのスペースが少ない

建設場所は浸水想定区域外

新庁舎は環境負荷を受けにくい

正面玄関は県道側

県道草津伊賀線に対し離隔が取れない

## 東庁舎周辺を含む配慮事項(各案)

### <新庁舎建設スケジュール>

#### ■ B案(職員駐車場側)

R7~R8  
基本設計

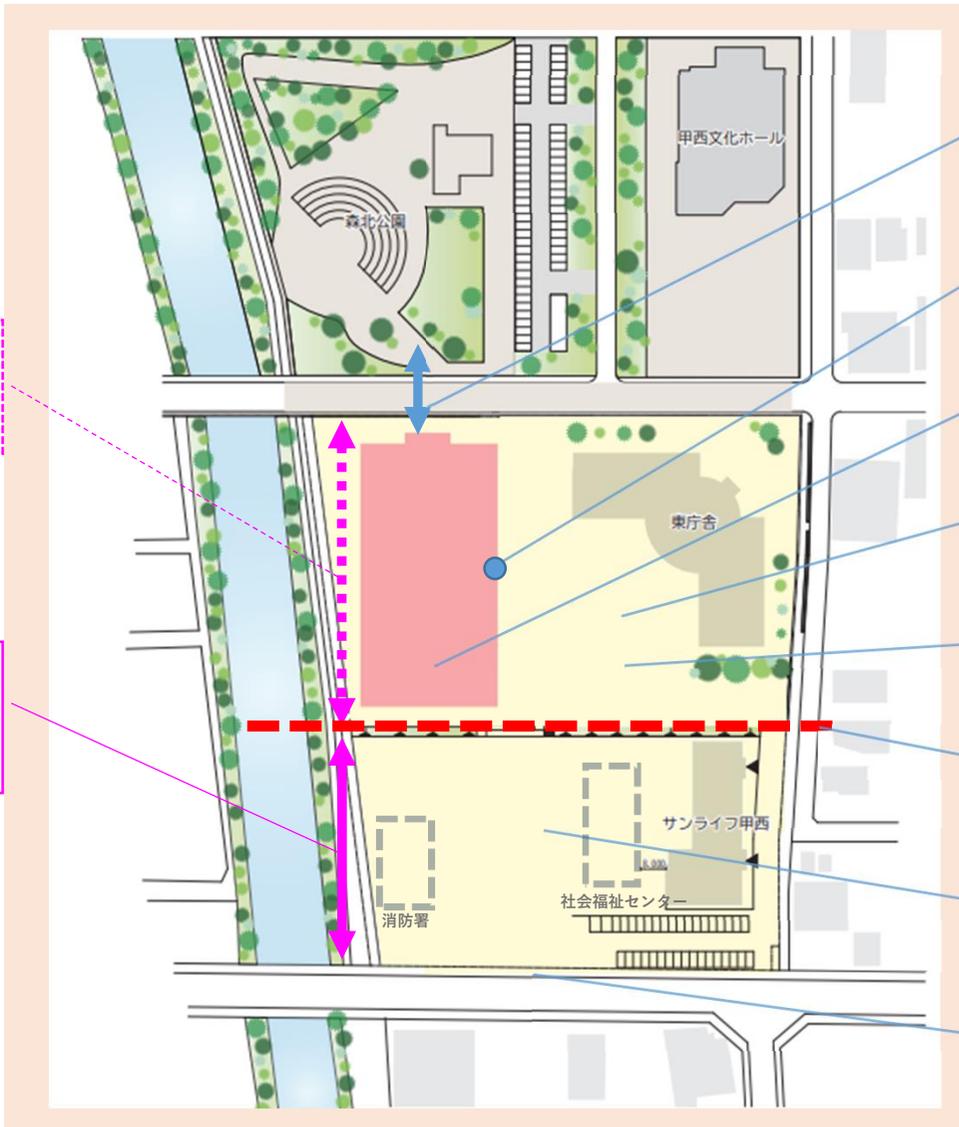
R9 実施設計  
R10 確認申請

R10~R12  
新庁舎建設工事

R12  
移転

(高台下)  
南北延長  
100m

(高台)  
南北延長  
65m



新庁舎と文化ゾーンが近接している

正面玄関は現東庁舎側

新庁舎は西日による環境負荷を受けやすい

工事ヤードのスペースがある

建設場所は浸水想定区域

高低差が約2mあり庁舎と北側駐車場の間に高低差がある

高台にスペースがある

県道草津伊賀線に対し離隔が取れる

## 東庁舎周辺を含む配慮事項(各案)

### ■ C案(南側駐車場側)

#### <新庁舎建設スケジュール>

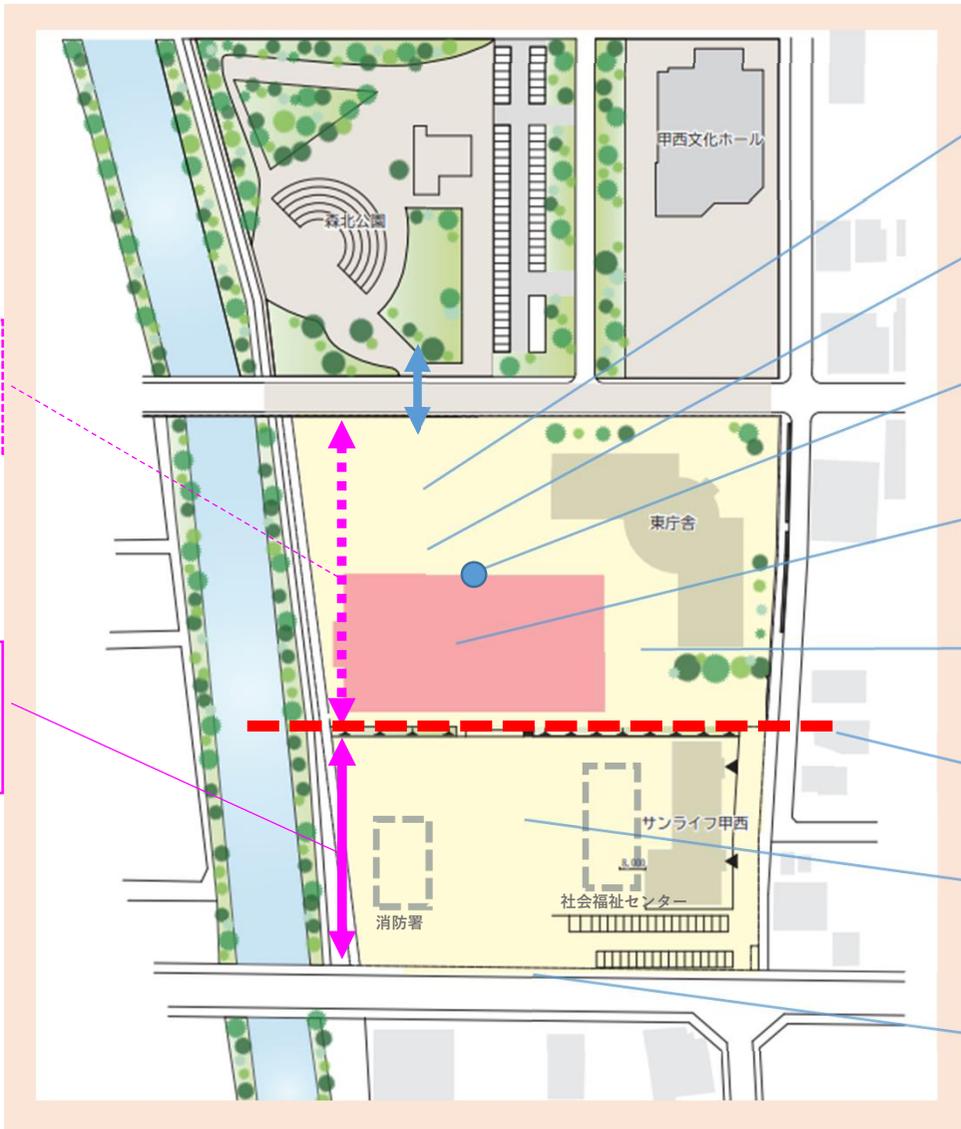
R7~R8  
実施設計・確認申請

R8~R10  
新庁舎建設工事

**R10**  
移転

(高台下)  
南北延長  
100m

(高台)  
南北延長  
65m



新庁舎と文化ゾーンの間スペースがある

工事ヤードのスペースがある

正面玄関は森北公園側

新庁舎は環境負荷を受けにくい

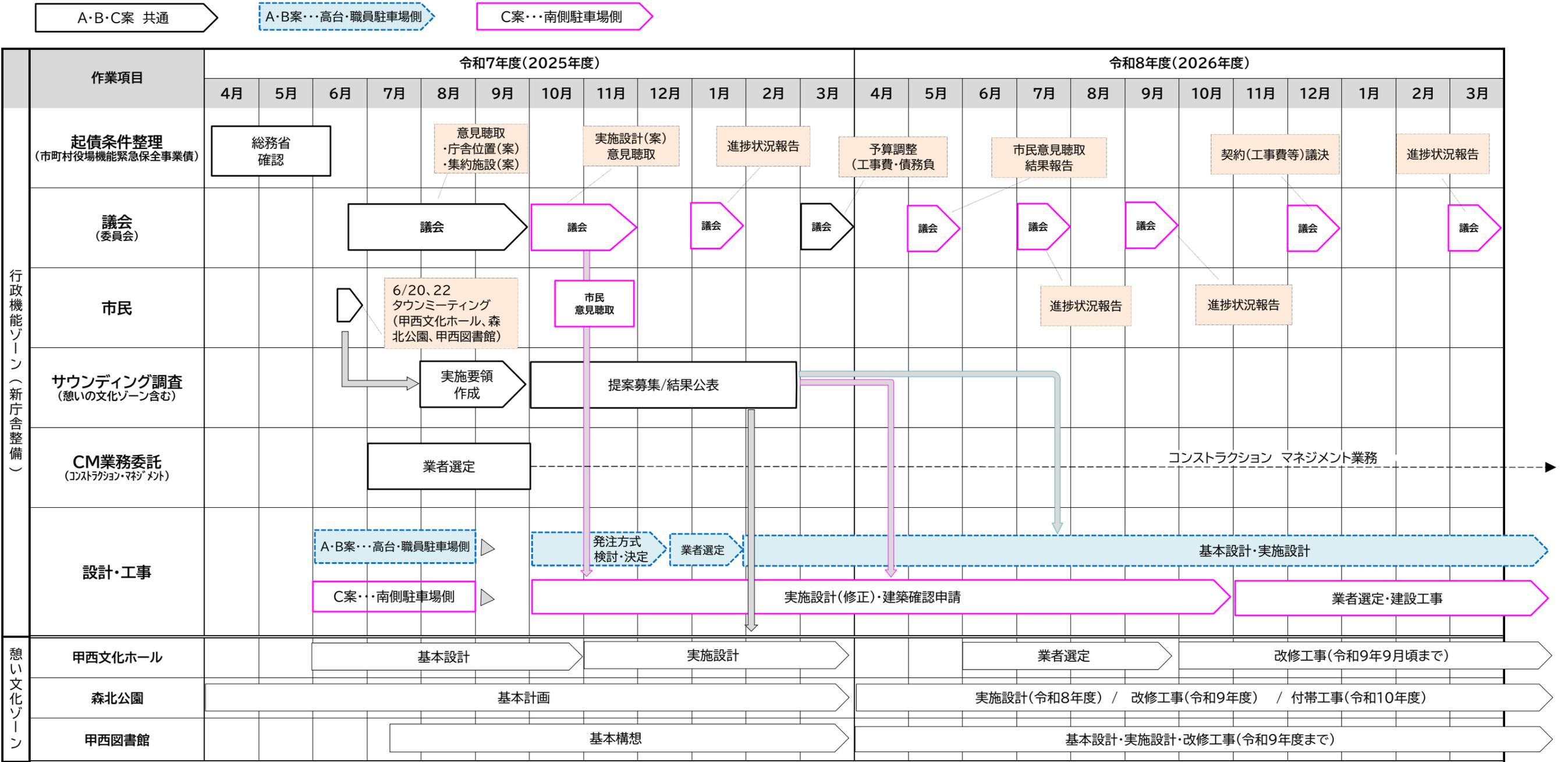
建設場所は浸水想定区域

高低差が約2mあり庁舎と北側駐車場の間に高低差がある

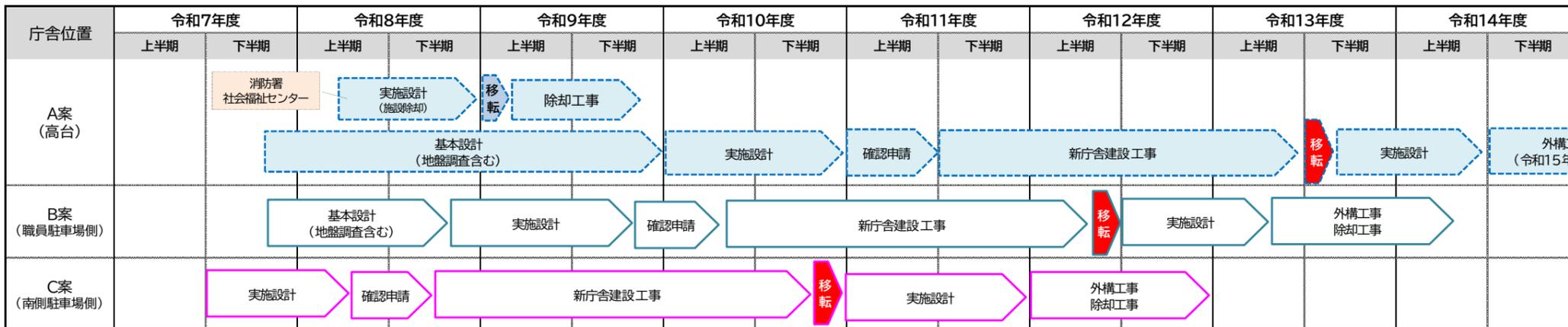
高台にスペースがある

県道草津伊賀線に対し離隔が取れる

# 別紙:新庁舎整備スケジュール



## 【参考】長期スケジュール



※移転後、現東庁舎の利活用または除却



## 新庁舎位置 選定の視点

---

- ① 新庁舎への移転時期
- ② 財源計画
- ③ 物価高騰が与えるリスク
- ④ 環境負荷への対応
- ⑤ 東庁舎周辺施設の一体利用
- ⑥ 新庁舎の施工性と既存施設の利活用

## ① 新庁舎への移転時期

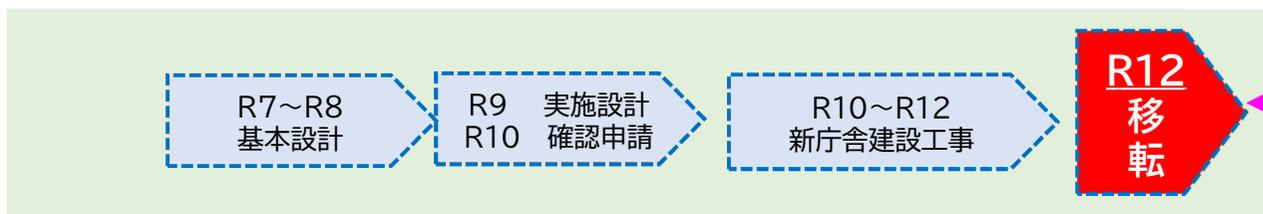
新庁舎の移転時期の比較については、以下のとおりです。

既存の実施設計を最大限活用することで、**C案がA案よりも2年半早く新庁舎が完成し移転が可能です。**

### ■ A案(高台)



### ■ B案(職員駐車場側)



A案より  
**1年 早い**

### ■ C案(南側駐車場側)



A案より  
**2年半 早い**

## ② 財源計画

A・B案、C案および市町村役場機能緊急保全事業債を活用しない場合の財源を比較しています。

既存の実施設計を最大限活用することで、**C案がA・B案よりも5.9億円有利になる**と試算しています。

●総事業費は、庁舎整備基本計画(P42)より125億円で試算しています。C案では、**令和8年度までに建設工事に着工することで、集約化・複合化事業債の適用が可能**となります。

		A・B案 (高台・職員駐車場側)			C案 (南側駐車場側)			(参考) 活用しない場合			地方債 充当率 / 交付税措置	
総事業費		125億円			125億円			125億円				
財源計画	地方債	算定項目	対象事業費	起債発行額	交付税措置	対象事業費	起債発行額	交付税措置	対象事業費	起債発行額	交付税措置	
		市町村役場機能緊急保全事業債	93億円	83.7億円	20.9億円	67億円	60.3億円	15.1億円	—	—	—	----- 90% / 30%※ ※ 起債対象事業費の75%を上限
		集約化・複合化事業債	—	—	—	26億円	23.4億円	11.7億円	—	—	—	----- 90% / 50%
		一般単独事業債	9.5億円	7.1億円	—	9.5億円	7.1億円	—	79.1億円	59.3億円	—	----- 75% / 措置なし
	防災対策事業債	—	—	—	—	—	—	23.4億円	17.6億円	5.3億円	----- 75% / 30%	
	国庫補助金(環境省)	3億円	1億円	—	3億円	1億円	—	3億円	1億円	—		
	庁舎整備基金	13.8億円			13.8億円			13.8億円				
	振興基金	5.7億円			5.7億円			5.7億円				
	一般財源(財政調整基金等)	—	13.7億円	—	—	13.7億円	—	—	27.6億円	—		
起債発行額		90.8億円			90.8億円			76.9億円			(その他財源計画) 令和元年度に策定した実施設計の活用で最大約2.5億円の設計費が少なくなります。	
交付税措置(起債償還時)		20.9億円			26.8億円			5.3億円				

5.9億円の差  
(C案が有利)

(主な算定根拠)

- ・新庁舎にかかる費用は、建設工事費89億円と設計費4億円の合計額93億円としています。
- ・市町村役場機能緊急保全事業債と集約化・複合化事業債(保健センター機能を集約する前提)の金額は、上記の金額を前回の実施設計における庁舎(8,550㎡)と複合化部分(3,350㎡)の面積按分により算出しています。

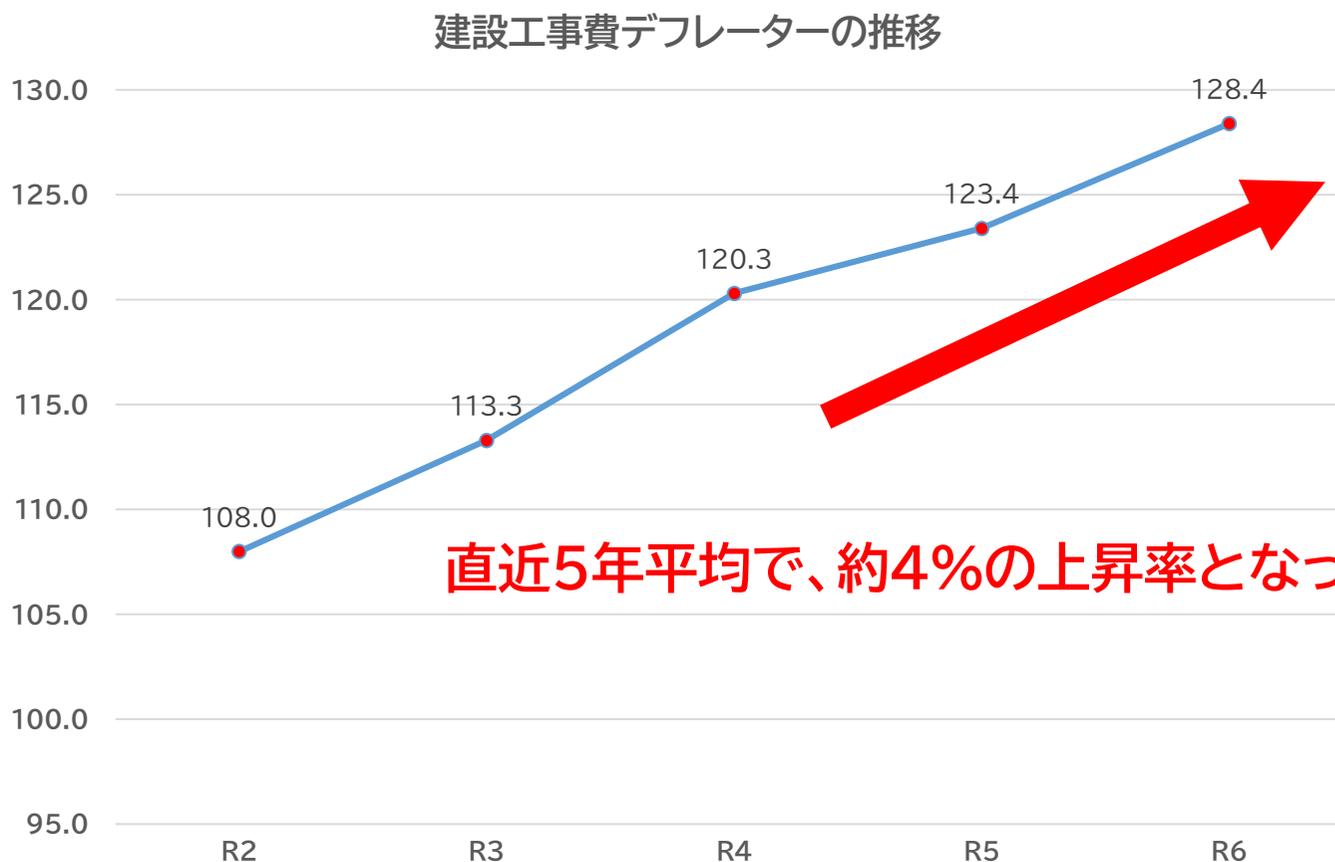
### ③ 物価高騰が与えるリスク

建設工事費デフレーター推移を踏まえると、  
着工が遅れるA案(高台)は、新庁舎工事費が最  
も高くなるリスクがあります。

詳細設計の実施や建設に係る物価上昇等により事業費が変動した場合は  
その都度変更していきます。

人手不足や資材高騰により建設工事費上昇のおそれがあります。

建築工事費デフレータの直近5年の推移は下表のとおりです。

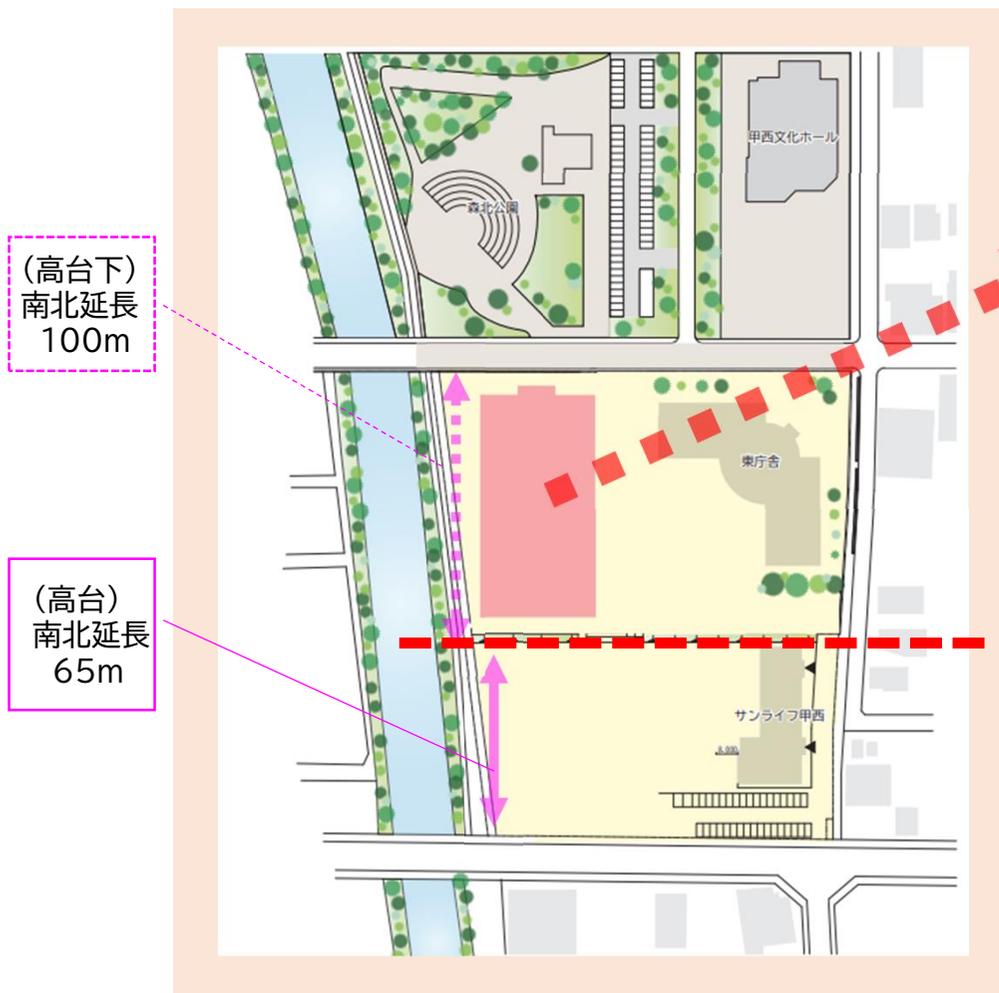


※令和7年5月30日付国土交通省公開資料より引用

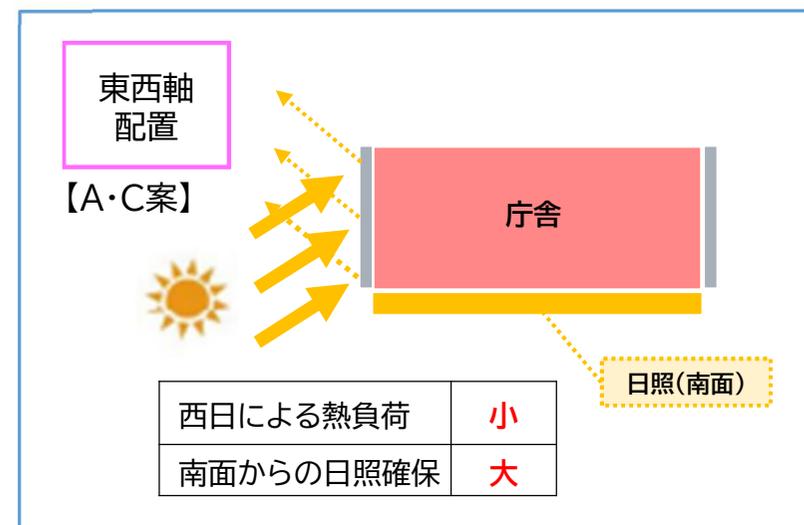
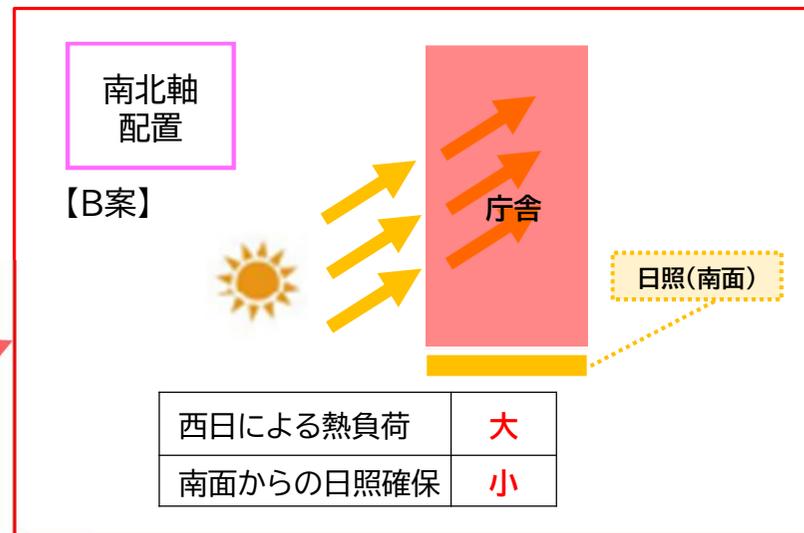
## ④ 環境負荷への対応

環境に配慮した合理的な建物配置が必要です。

### ■ B案(職員駐車場側)



B案は南北軸の配置であり、熱負荷が大きく、南面の日照が小さくなります。夏は暑く、冬は寒いので冷暖房効率が悪くなります。



## ⑤ 東庁舎周辺施設の一体利用 その1

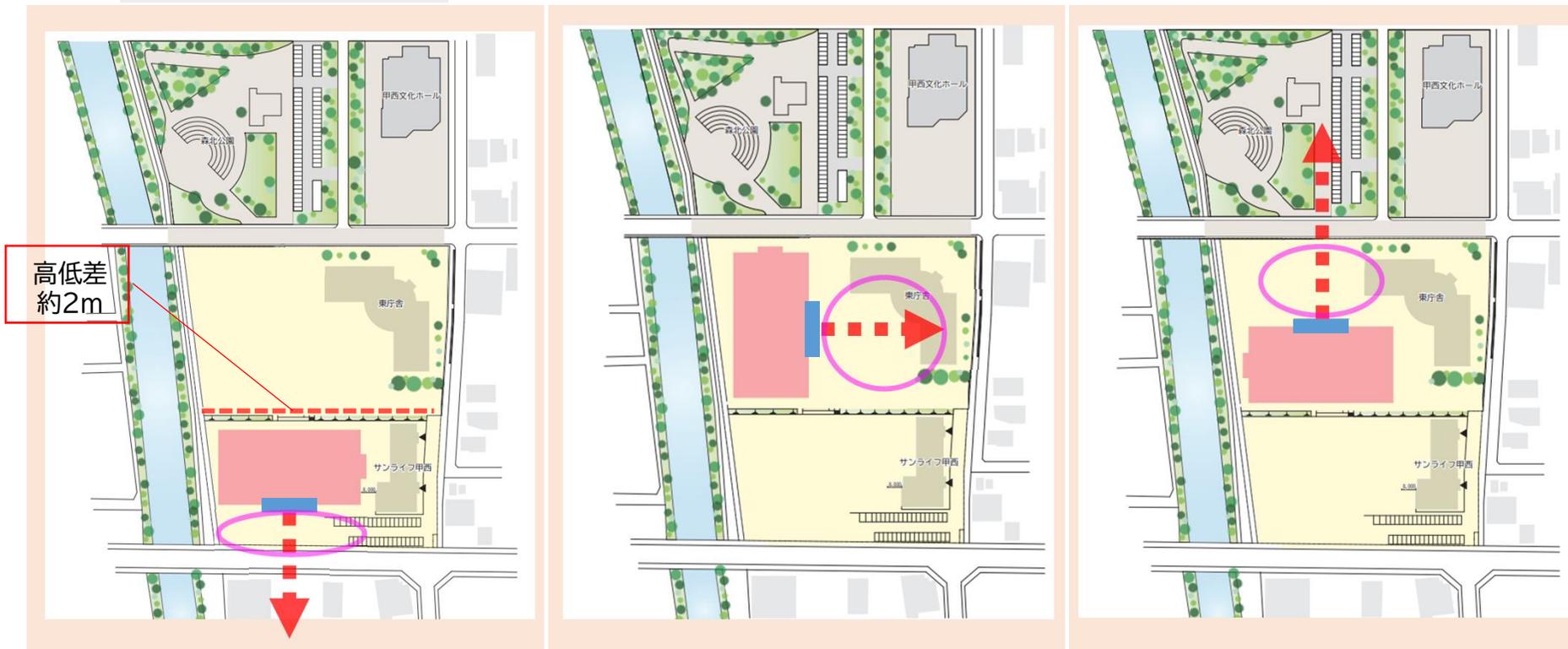
新庁舎と文化ゾーンの一体感を生み出すことが、他自治体にはない**オンリーワンの新庁舎整備**を創出できます。

新庁舎と文化ゾーンの一体利用の観点から、玄関の方向や市民が利用しやすい玄関前スペースの確保が重要です。

### ■ A案(高台)

### ■ B案(職員駐車場側)

### ■ C案(南側駐車場側)



高低差  
 約2m

#### <玄関の方向> **県道**

文化ゾーン方向への配置は、高低差解消の検討・施工に時間・経費を要する。

#### <玄関の方向> **現東庁舎**

文化ゾーンに庁舎が近接しており、圧迫感があり、一体感を損なう。

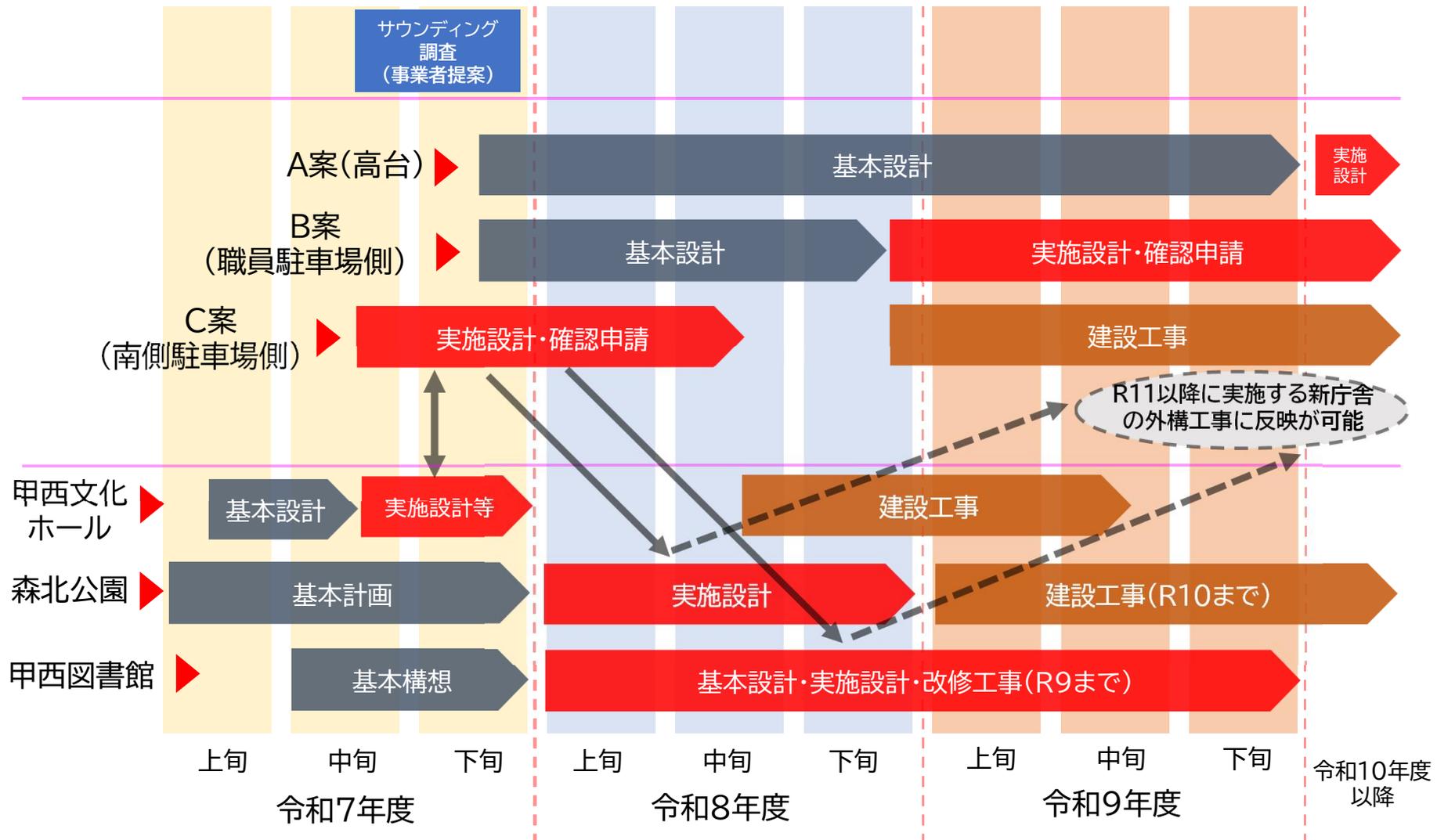
#### <玄関の方向> **文化ゾーン**

庁舎内や玄関前、文化ゾーンの連続した空間が創出でき、**市民が望む活用を期待できる。**

## ⑤ 東庁舎周辺施設の一体利用 その2

新庁舎と文化ゾーンは、これから新しく生まれ変わります。  
 各施設の有効性を最大限に引き出すため、相互に連携しながら  
 設計を進め、一体感を創出していくことが重要です。

令和7年度から文化ゾーン各施設の基本設計および実施設計に入る段階であるため、  
 新庁舎の実施設計を軸に、文化ゾーン各施設との連携を図ることが求められます。  
**C案は、各施設での設計時期と重なり、文化ゾーン各施設との連携が効率的に図れます。**

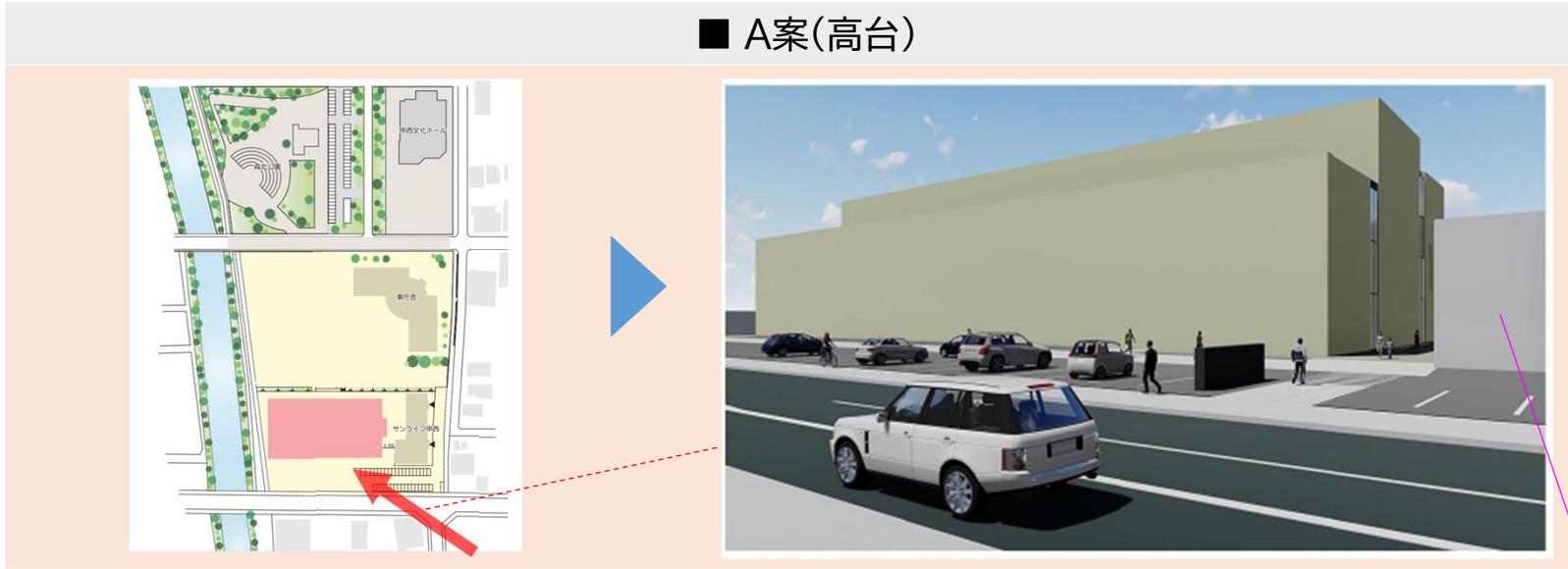


参考: 県道側からのイメージ図 その1

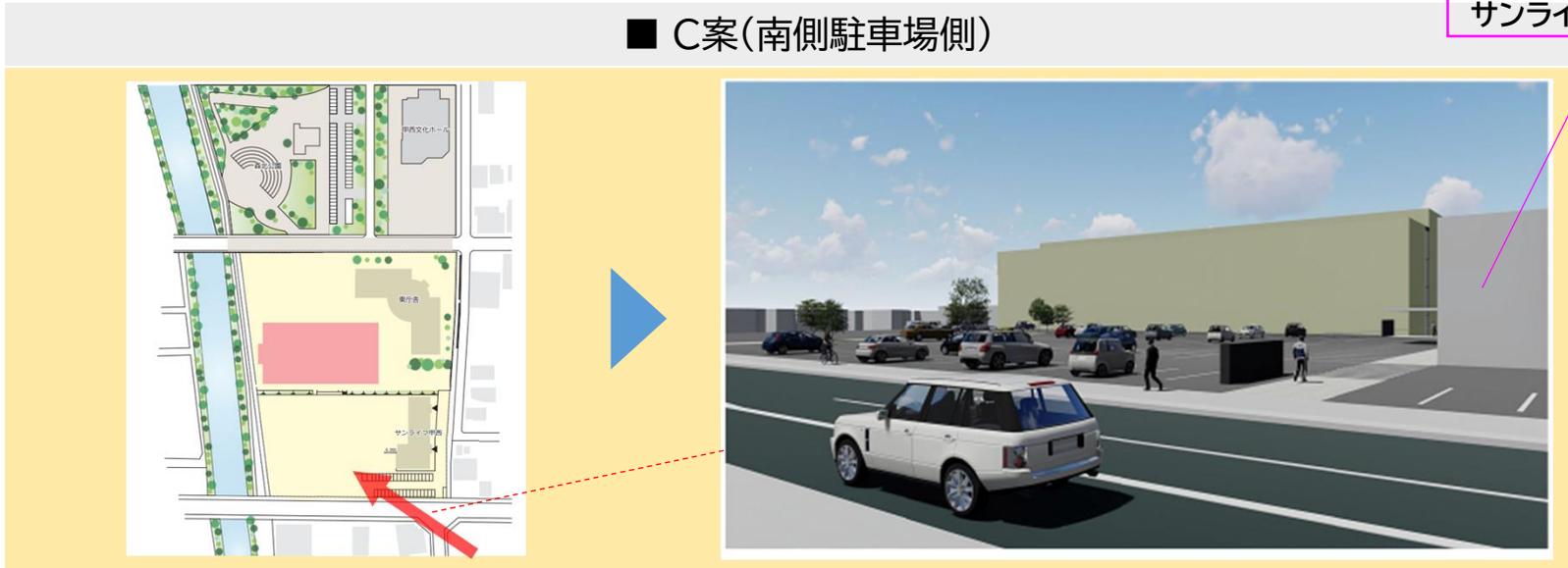
庁舎を東西軸で建設するA案(高台)とC案(南側駐車場側)のパターンで比較しています。【県道側から庁舎東側方向】

A案(高台)では、県道沿いに1列しか駐車場を配置できません。また、東側にあるサンライフ甲西と近接しています。

■ A案(高台)



■ C案(南側駐車場側)



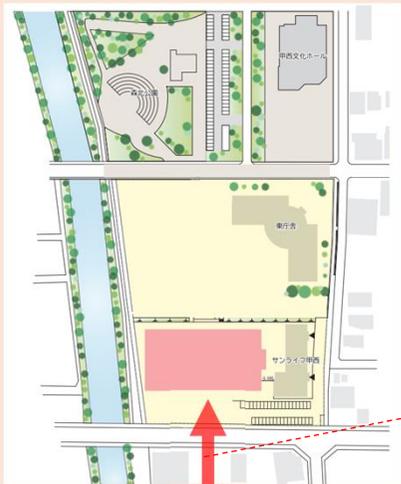
サンライフ甲西

参考: 県道側からのイメージ図 その2

庁舎を東西軸で建設するA案(高台)とC案(南側駐車場側)の  
 パターンで比較しています。【県道側から庁舎正面方向】

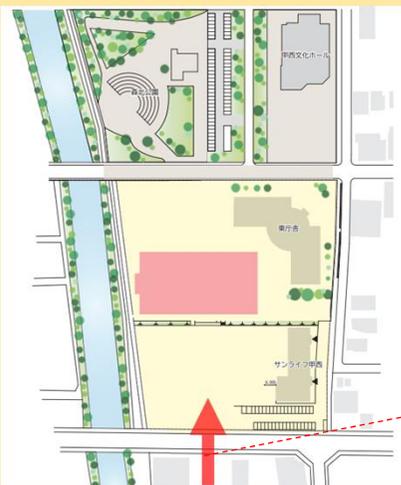
C案(南側駐車場側)では、駐車場として効  
 率よく活用でき、サンライフ甲西の玄関前の  
 空間が広く活用できます。

■ A案(高台)



サンライフ甲西  
 改修に伴い玄関  
 を移設予定

■ C案(南側駐車場側)



## ⑥ 新庁舎の施工性と 既存施設の利活用

新庁舎の施工性と既存施設の利活用の検討により、効率的・効果的な庁舎整備を目指します。

高台の2施設(消防署、社会福祉センター)の利活用により、効率的・効果的な庁舎整備が検討できます。

### ■ A案(高台)



・工事ヤードが少ないため、建築面積を減らし階層が増えることが想定され、県道側の圧迫感など景観への影響が生じる。

・東庁舎の利活用を幅広く検討できる。  
・庁舎建設前に消防署、社会福祉センターの除却が必要となる。

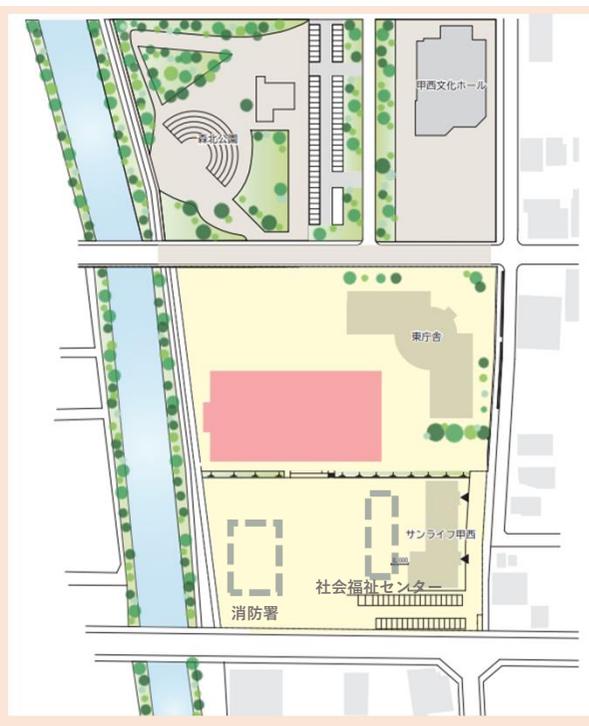
### ■ B案(職員駐車場側)



・工事ヤードが確保でき、高台との高低差に対して造成工事等の必要はない。

・現東庁舎があることにより、高台下の駐車場の効率的な配置が制限される。  
・消防署と社会福祉センターの除却は、新庁舎建設の必要条件ではないため、新庁舎への移転が完了するまで、以下の有効利用が検討できる。  
(消防署) 庁舎工事期間中の現場事務所としての利用  
(社会福祉センター) 社会福祉協議会等の継続利用 ⇒ 市福祉事務所との密接な連携

### ■ C案(南側駐車場側)



■ …新庁舎の施工性

□ …既存施設の利活用

## 参考:緊急防災・減災事業債の活用

適用される場合の交付税措置は、**A・B案およびC案ともに1.1億円の財源効果があります。**

緊急防災・減災事業債の延長は未定ではありますが、適用された場合の財源シミュレーションは以下のとおりです。起債の充当率は100%で、交付税措置は70%になります。

(対象面積)

災害対策室・防災無線室・備蓄倉庫で300㎡と想定

⇒ 新庁舎想定面積(12,000㎡)の **2.5%** で試算します。

		A・B案 (高台・職員駐車場側)			C案 (南側駐車場側)			
<b>総事業費</b>		125億円			125億円			
算定項目		対象事業費	起債発行額	交付税措置	対象事業費	起債発行額	交付税措置	
財源計画	地方債	市町村役場機能 緊急保全事業債	90.7億円	81.6億円	20.4億円	64.7億円	58.2億円	14.6億円
		集約化・複合化事業債	—	—	—	26億円	23.4億円	11.7億円
		<b>緊急防災・減災事業債</b>	<b>2.3億円</b>	<b>2.3億円</b>	<b>1.6億円</b>	<b>2.3億円</b>	<b>2.3億円</b>	<b>1.6億円</b>
		一般単独事業債	9.5億円	7.1億円	—	9.5億円	7.1億円	—
		防災対策事業債	—	—	—	—	—	—
	国庫補助金(環境省)	3億円	1億円	—	3億円	1億円	—	
	庁舎整備基金	13.8億円			13.8億円			
	振興基金	5.7億円			5.7億円			
	一般財源 (財政調整基金等)	—	13.5億円	—	—	13.5億円	—	
	<b>起債発行額</b>		91億円			91億円		
<b>交付税措置(起債償還時)</b> ※下段は適用されない場合		<b>22億円</b> ※20.9億円			<b>27.9億円</b> ※26.8億円			

<財源効果>

**1.1億円**

- 各案について主な事項に関するまとめは下記のとおりです。

A案・・・高台 、 B案・・・職員駐車場側 、 C案・・・南側駐車場側

1

既存の実施設計を最大限活用することで、  
C案がA案よりも2年半早く新庁舎が完成し移転が可能です。  
C案がA・B案よりも交付税措置が5.9億円有利になると試算しています。

2

建設工事費デフレーターの推移を踏まえると、着工が遅れるA案(高台)は、新庁舎工事費が最も高くなるリスクがあります。

3

B案は南北軸の配置であり、熱負荷が大きく、南面の日照が小さくなります。夏は暑く、冬は寒いため冷暖房効率が悪くなります。

4

新庁舎と文化ゾーンの一体感を生み出すことが、他自治体にはないオンリーワンの新庁舎整備を創出できます。

5

B・C案は、高台の2施設(消防署、社会福祉センター)の利活用により、効率的・効果的な庁舎整備が検討できます。

若い世代が、新庁舎をまちづくりの中心拠点として「湖南省の未来」を描いた意見を実現するため、新庁舎のコンセプトを提案します。

市民ワークショップ  
庁舎整備について  
松浦市長と語ろう  
を実施しました！



開催の趣旨 /

湖南省庁舎整備の検討にあたり、これまで市民アンケートやタウンミーティングで市民の皆さんから多くのご意見を伺いましたが、その回答者・参加者は50歳以上の方が大半を占めていました。  
そこで、50歳未満の方のご意見にも耳を傾けるため、若い世代の方を対象に今後の庁舎のあり方や庁舎整備の方向性について市長とともに語り合う懇談会を開催しました。

日時 令和6年12月18日(水) 19:00 ~ 21:00  
場所 湖南省役所 東庁舎 3階 大会議室  
参加者 43名 (うちZoomでの参加者3名)

ワークショップの内容

1. 庁舎整備の方法について  
▶ 『新築・建替え』と『改修・増築』のどちらが良いか、メリット・デメリットを踏まえて考えを話し合いました！
2. 将来の庁舎について  
▶ 「こんな庁舎になったらいいな」と思うことを語り合いました！
3. 市の中心拠点としての今後のあり方について  
▶ 甲西駅～庁舎～甲西図書館のエリアを市の中心拠点とし、地域の活性化のために効果的な使い方のアイデアを出し合いました！
4. エリアのネーミング  
▶ 上記エリアに市民に親しみを持って呼んでもらえる名前をつけてもらいました！

6グループに分かれて意見交換をしました！



## 参加者の主な意見

### ■ 将来の庁舎について

- ・全ての人に利用しやすい(気軽に立ち寄りやすい・ずっといれる)場所
- ・用がなくても訪れようと思える場所、気軽に相談に来れる庁舎
- ・カフェみたいな所があると嬉しい
- ・学生が自習できる
- ・中高生が集まることのできるスペースがあるとよい
- ・若い世代と近い職員さんがいてくれる、ディスカッションができる庁舎
- ・湖南省の企業と市民をつなぐ場所
- ・高校生が電車の待ち時間に立ち寄りようと思える居場所づくり
- ・アクセスしやすい機能的な庁舎
- ・広場でだれでもイベントできる、テナントスペースでイベントがしたい
- ・子どもに優しい設備、子どもに目が届くフロアが良い
- ・子どもや子育て世代の親が集まれる場所になってほしい
- ・フリーで利用できるスペースがある
- ・市役所内で色々なイベントが行えるフリースペース
- ・フレキシブルな内装配置、使い方

### ■ 市の中心拠点としての今後のあり方について

#### — 共通 —

- ・イベント開催(マルシェ、祭り)
- ・イベント時の雨天対策として、大屋根をつくってほしい
- ・屋台村
- ・川沿いをライトアップ
- ・いろんな形のベンチ
- ・噴水がほしい
- ・電源が引けるようにしてほしい
- ・川べりに下りて散歩できるように
- ・駐車場を広くしてほしい
- ・企業支援お試し出店

#### — 森北公園 —

- ・安全な遊具をたくさん
- ・文化ホールと公園でフェス
- ・すべて芝の広場にしたい

#### — 新庁舎 —

- ・災害時の避難拠点としてのスペース
- ・観光案内(市外の人も立ち寄る)
- ・毎日キッチンカー
- ・カフェがほしい
- ・室内で遊べる場所
- ・行政主体のイベント

#### — 甲西図書館 —

- ・より憩いの場に
- ・学習スペース(小さい頃から親しみを育てる)
- ・おしゃれな最先端の図書館
- ・カフェ
- ・お茶が飲める休憩所
- ・蔵書集約して拡張



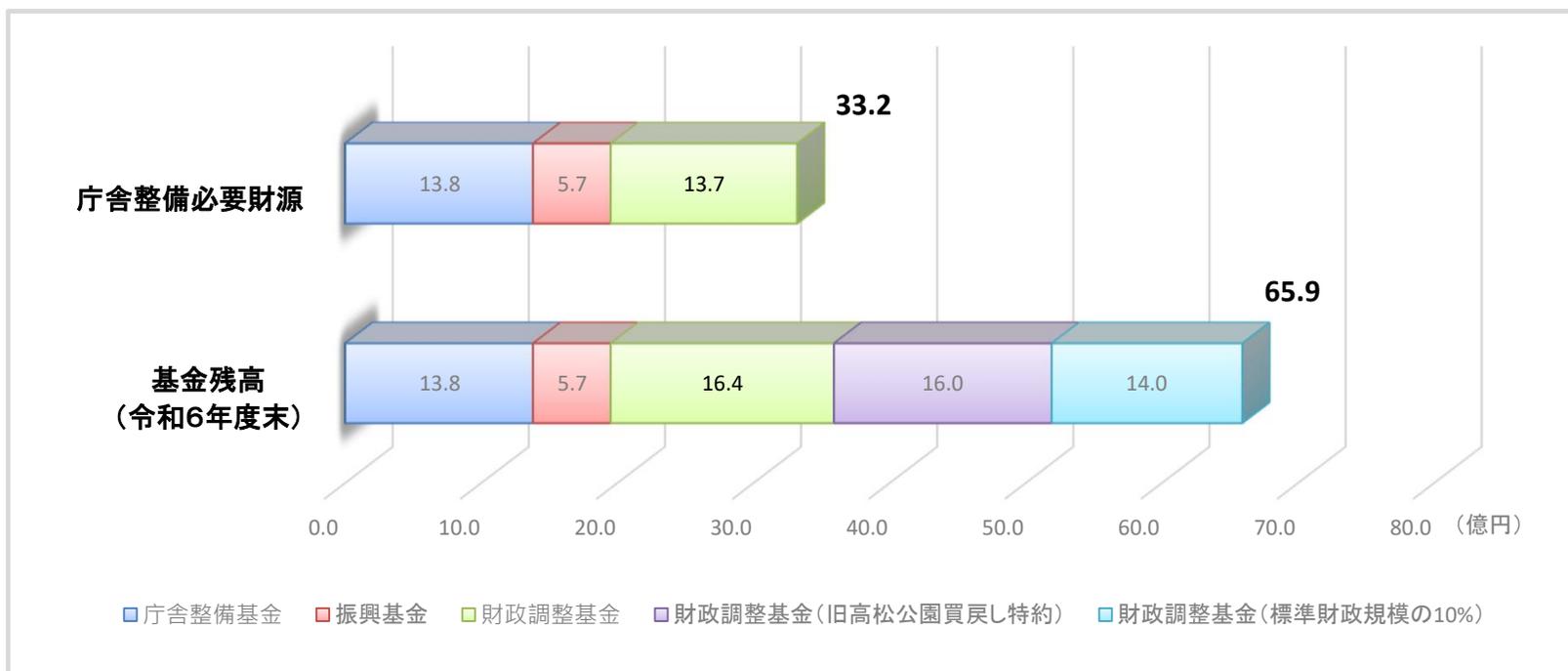
# 新庁舎整備の財源計画について

## <報告内容>

- ・ 基金の状況
- ・ 公債費の推移①
- ・ 公債費の推移②
- ・ 公債費の推移③
- ・ 長期財政計画(財政収支)
- ・ 長期財政計画(基金残高)

総務部 財政課

### 基金の状況

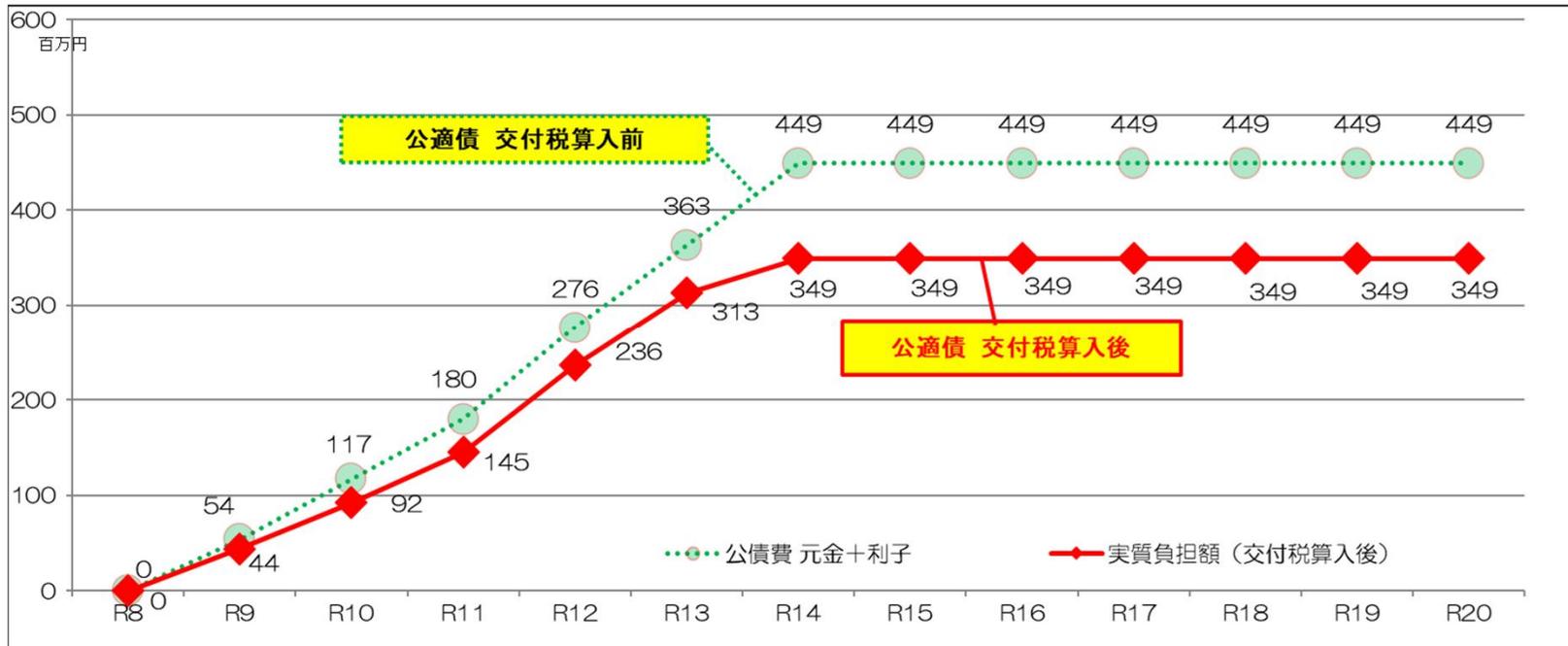


▶ 総事業費125億円のうち着工から竣工までに必要な基金合計は33.2億円  
 (うち財政調整基金は13.7億円)

▶ 財政調整基金残高46.4億円から旧高松公園買戻し特約16億円、標準財政規模の10%分の14億円を除き、**16.4億円を財源として確保(R6末)**

## 公債費の推移 (庁舎整備のみ)

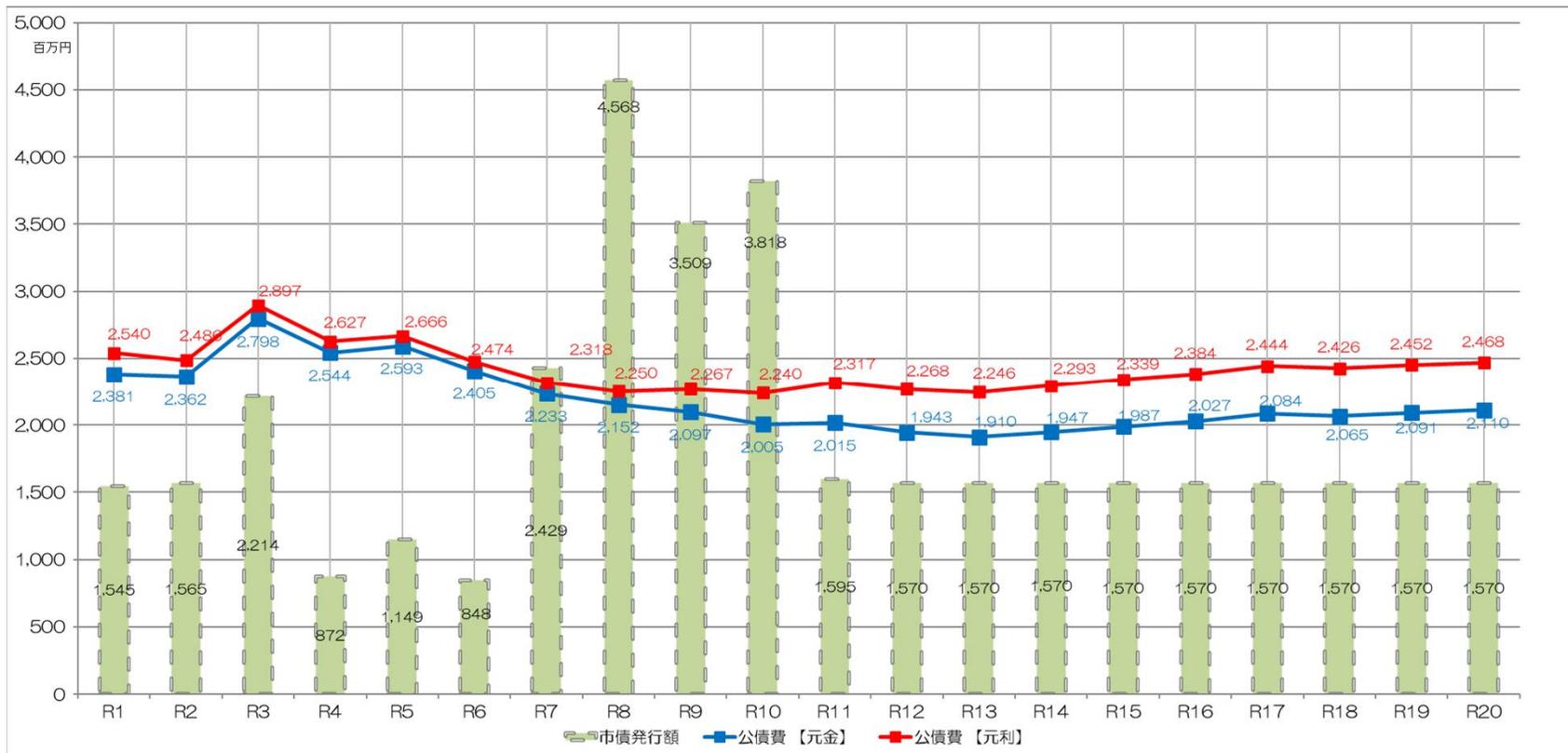
以降、着工が最も早い場合で試算



試算条件:借入額90.8億円 (公適債:83.7億円、一般事業債7.1億円)  
 償還期間30年(据置3年)、年利率2.1%、元利均等方式

- ▶ 交付税措置 最大26.8億円 (年平均 約1.0億円)
- ▶ 実質元金償還額 64.0億円

### 既存公債費に庁舎整備事業を含めた公債費の推移

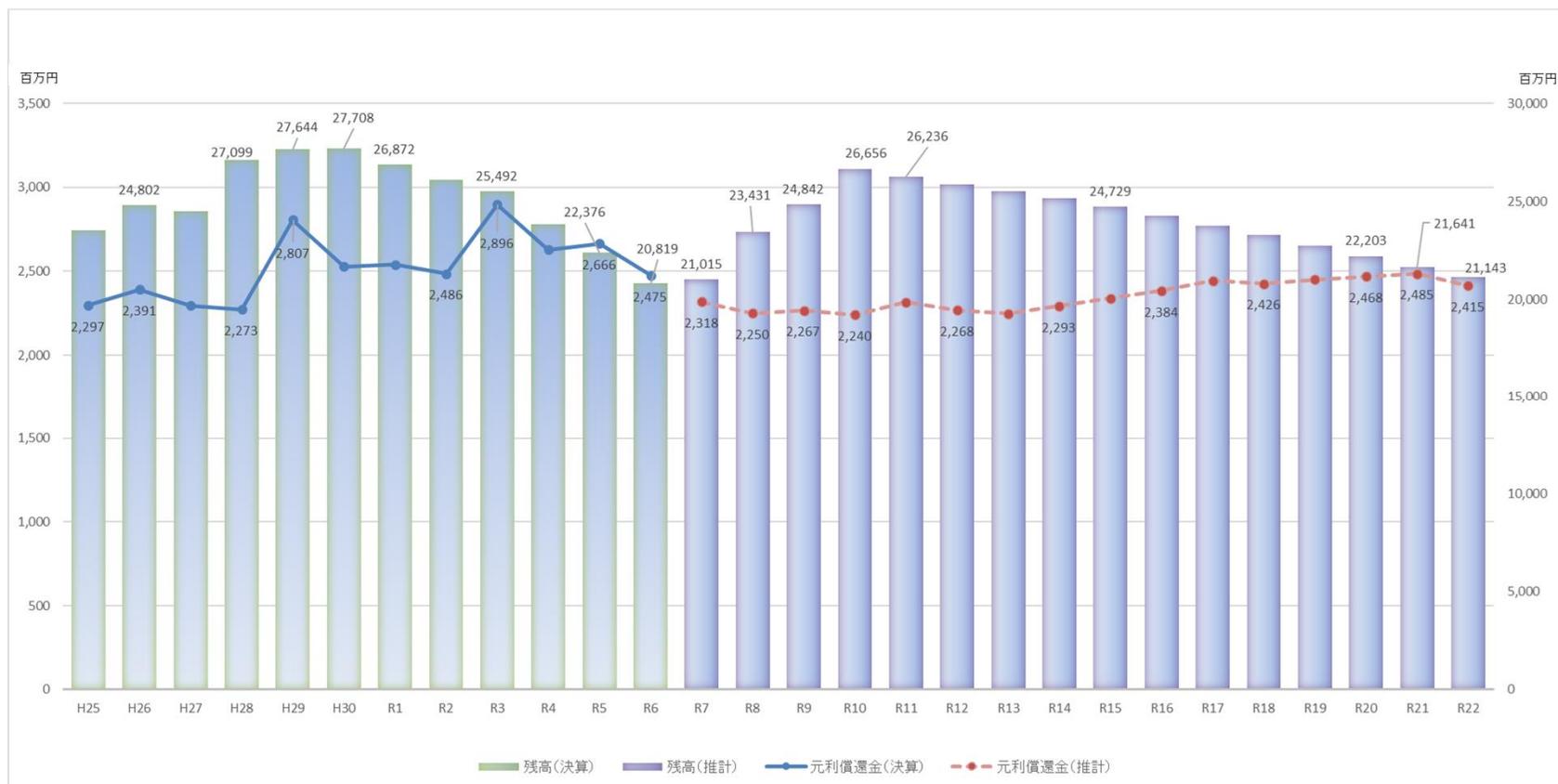


▶ 発行額 ①庁舎整備事業 90.8億円 ②R12以降 15.7億円で試算

▶ 各年公債費(元利) 約22億円～約24億円 ※公債費R6決算 約24.7億円

▶ 減債基金残高 令和6年度末 9.4億円

### 起債残高、償還額の推移



- ▶ 起債残高のピーク 令和10年(約266億円) 過去のピーク 平成30年(277億円)
- ▶ 償還のピーク 令和21年(約24.8億円) 過去のピーク 令和3年(28.9億円)  
※繰上償還含む

## 財政収支計画

### 【歳入】

単位:百万円

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
市税	9,648	9,682	9,696	9,709	9,718	9,726	9,726	9,721	9,716
地方譲与税・交付金	2,072	2,079	2,082	2,085	2,087	2,089	2,089	2,088	2,086
地方交付税	3,064	2,929	2,926	2,800	2,682	2,568	2,458	2,310	2,294
国県支出金	7,272	7,065	6,948	7,028	7,097	7,179	7,261	7,358	7,533
繰入金	1,277	1,847	1,817	1,819	755	772	772	872	772
地方債	2,429	4,568	3,509	3,818	1,595	1,570	1,570	1,570	1,570
その他歳入	1,138	1,236	1,236	1,236	1,236	1,236	1,236	1,236	1,236
<b>歳入合計</b>	<b>26,900</b>	<b>29,406</b>	<b>28,214</b>	<b>28,495</b>	<b>25,170</b>	<b>25,140</b>	<b>25,112</b>	<b>25,155</b>	<b>25,207</b>

将来人口推計および内閣府公表の名目GDP成長率を参考に推計

R7年度をベースに推計

普通交付税:R7年度をベースに主要項目の増減を考慮、特別交付税:R7年度を据置

R7年度をベース現計画の増減率で推計

庁舎整備関連の繰入金を追加。その他はR7年度を据置。

現計画に庁舎整備にかかる地方債を追加。未確定事業分も一定考慮。

### 【歳出】

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
人件費	4,233	4,232	4,232	4,232	4,232	4,232	4,232	4,232	4,232
扶助費	6,050	6,097	6,145	6,194	6,243	6,292	6,292	6,292	6,292
公債費	2,318	2,250	2,267	2,240	2,317	2,268	2,247	2,293	2,339
物件費	4,890	4,708	4,718	4,687	4,670	4,671	4,671	4,671	4,671
補助費等	3,846	3,353	3,347	3,324	3,306	3,304	3,297	3,292	3,290
繰出金	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705
投資的経費	3,037	6,240	4,979	5,292	1,876	1,847	1,847	1,849	1,857
その他歳出	821	821	821	821	821	821	821	821	821
<b>歳出合計</b>	<b>26,900</b>	<b>29,406</b>	<b>28,214</b>	<b>28,495</b>	<b>25,170</b>	<b>25,140</b>	<b>25,112</b>	<b>25,155</b>	<b>25,207</b>

R7年度を据置

R7年度をベースに現計画の伸び率で推計

現計画に庁舎整備を含めた償還額を試算

R7年度をベースに物価高騰を考慮し推計

R7年度をベースに臨時的経費を除き現計画の増減率で試算

R7年度を据置

現計画に庁舎整備経費を追加(R8～R10を想定)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
<b>歳入歳出差引額</b>	<b>0</b>								
(参考) 一般財源	15,628	15,688	15,700	15,590	15,027	14,923	14,813	14,659	14,636

### 基金残高の推移

単位:百万円

主な基金	R6末	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
財政調整基金	4,639	4,839	4,481	4,125	3,769	3,869	3,969	4,069	4,169	4,269
減債基金	941	941	941	941	941	941	941	941	941	941
庁舎整備基金	1,380	1,380	920	460	0	0	0	0	0	0
振興基金	579	579	380	190	0	0	0	0	0	0
公共公益施設等整備基金	1,441	1,159	1,069	998	917	894	854	814	674	634

※各基金の残高は、各年度末の残高を表しています。

※財政調整基金は、当初予算で繰入を計上しますが当該年度中に一定繰入額を減額します。また、決算剰余金による積立を考慮しています。